

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胃癌周術期体組成が胃切除後短期・長期成績に及ぼす影響

1. 研究の対象および研究対象期間

対象となる方：2002年1月から2018年12月までに胃癌に対して手術を受けられた方

研究対象期間：2021年1月15日から2023年12月まで

2. 研究目的・方法

胃癌は全世界の癌死亡の第2位の疾患です。腫瘍の完全切除が胃癌に対する唯一の根本治療であり、内視鏡的切除適応外の病変に対しては胃切除術の適応となることが本邦の胃癌治療ガイドラインに明記されています。

近年、周術期の体組成が悪性腫瘍の術後成績に影響を及ぼすといった報告がありますが、未だ明確な結論は得られていません。

本研究では昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科において施行された胃癌に対する胃切除症例600例の臨床情報（背景、血液検査、生理検査、術前・術後画像検査から算出した体組成（筋肉量・脂肪量）等）を収集し、胃癌周術期体組成が胃切除後短期・長期成績に及ぼす影響を明らかにすることを目的としました。

研究期間

2021年1月15日から2023年12月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術情報、術後合併症の発生状況、再発や死亡などの転帰

試料：血液、レントゲン・CT画像、内視鏡検査画像、手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科

職名：助教

研究責任者：内田恒之

電話番号：045-971-1151（内線 5464）